



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 | (鉄建) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.6.28 No. 3241

予科生運転士登用差別事件 地労委闘争始まる!

六月二日、予科生運転士登用差別事件の地労委第一回調査が開催された。予科生の運転士登用は、あまりにも露骨な組合所属による差別・選別に貫かれている。予科生のうち、JR総連所属者は、自ら辞退している二名を除いて一〇〇%運転士、車掌ないし支社課員として登用されている。ところが、動労千葉組合員は、運転士発令はゼロ、

車掌にわずか三名のみ(発令率九・七%)、国労は車掌に五名のみである。われわれは、奴隷のようにJR当局に膝を屈したこのみをも人間の評価の基準とし、卑劣な差別を繰り返すJR当局を断じて許すわけにいかない。地労委闘争のなかで、JRの不当労働行為を暴きだし、公平な運転士登用を勝ちとるために、全力で闘いを進めよう。

JR側、何と二七名もの補佐人を申請する!?

第一回調査でJR側は、何と非常識にも二七名もの補佐人を申請してきた。これでは、JR側補佐人だけで審問室は満杯になり、誰ひとり傍聴することもできなくなってしまう。不当差別が誰の目にも歴然としているだけに、

JR側は、力づくでの乗りきりに出てきたのである。しかし、これには審査委員長もア然としたのか、「毎回五名に絞ってもらいます」と指摘、JRの非常識なやり方は、当然にもその出発点で頓挫することとなった。

またも、国鉄-JRの同一性について議論をむし返し、引き伸ばし図る

また、JR側代理人は、「(動労千葉は)国鉄とJRが実質的に同一であ

ることを前提として主張をしているようなのでこの点について、次回反論

をした」と主張した。しかしこれは、明らかに審理引き伸ばし策動に他ならない。国鉄とJRの同一性については、すでに千葉地労委でも清算事業団の採用差別事件で結論が出ている話である。もちろん全国の地労委でも全て実質的同一性が認

定されている。JR側は、これをまたむし返そうとしているのである。このような力づくでの乗りきりや引き伸ばし策動を許さず、一刻も早く士職登用を勝ちとるために、予科生の仲間たちを先頭に全力で決起しよう。

「自分たちが正しいという確信がある!」予科生が決意表明!

また、この日の闘いの最後には、参加した予科生の仲間が「何ひとつ間違ったことをしていないにもかかわらず差別されてきた。自分たちが正しい

という確信があるから、最後まで闘いぬく決意です。今後とも支援よろしくお願います」と決意表明。全体で確認し、第一回調査を終了した。

6/24 関西新空港反対集会に参加しました!

六月二四日、動労千葉は、酷暑の中、関西新空港反対集会に参加し、地域住民と共にデモを闘いぬきました。六五〇名をこえる参加者で、団地の中にある集会場はうずめ尽くされ、団地の窓からは住民が真剣に集会に聞き入っている。泉佐野市議国賀さんが前回得票を五〇〇票近く伸ばし、高位当選をかちとった雰囲気がよくわかり、住民と一体となった反対運動の前進にふれることが出来、参加者全員感動して、意気軒高と帰路につきましました。



7.1 結地引網大会へ

9時より、茂原駅よりバス15分 一松海岸
海の家「あいの」